

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）	
鏡味治也・西本陽一		yoichi@kenroku.kanazawa-u.ac.jp	
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
小林 大祐		金沢大学 文学部 人間学科 史学科 / 人間社会学域 人文学類 人間科学コース・フィールド文化学コース	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
文化人類学調査実習II	KNZa-090901-0	7人	

## I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：

調査実習の準備、実施、報告書作成の過程では教員が指導するが、学生各人は地域調査の中で自らのテーマを見つけ、補充調査を行いながら各自のテーマについて調査・分析を進めている。集中現地調査でも、後半には学生が2-4名のグループまたは個人で、住民世帯を訪ねてインタビューを行ったほか、行事などへの参与観察および観察を実施した。学生による報告書は編集されて、総合的な地域調査報告書として刊行されるので、テーマに偏りがないよう調整する必要があるが、各学生とも選んだ特定テーマについて積極的にデータ整理・分析を行っている。

## II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：

石川県珠洲市三崎町雲津・小泊・伏見・高波の総合地域調査

2. 調査の内容／概要：

石川県内の一地域を選んで20年以上実施してきた地域調査の継続。キーインフォマント面接に加えて、住民票などから連絡を取り、出来るだけ多くの世帯を訪問して、世帯主、他の成人成員または両者に面接を行い、地域について全般的に調査する。その後、各参加者が個別テーマについて、追加調査にもとづいて報告書を作成、それらを総合的な調査報告書に編集して年度末までに刊行する。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：

石川県珠洲市三崎町雲津・小泊・伏見・高波の234世帯、705名の住民が対象。対象者の確定は、住民票、町会名簿などの区提供のデータ、電話帳によった。最初に主要調査項目に詳しいとされる住民を取り上げ、その後に、性別、年齢、居所などの要素の偏りを少なくするように、対象者を選定した。

4. 主な調査項目：

あらかじめ特定テーマを絞らずに、まず地域の生活の全体的な理解を目指し、その後に参加者の関心に従って、特定テーマの選定および調査を行ってきた。主要な調査項目は、地域の概略、人口構成、地区組織、農業、漁業、出稼ぎ、神社祭礼、結婚儀礼、産業と工芸、地産地消運動、宗教などである。

## III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：

区長や地区役員などのキーインフォマントに加えて、住民票、町会名簿、電話帳によって連絡を取り、出来るだけ多くの世帯を訪問して、世帯主、他の成人成員または両者に面接を行い、地域について全般的に調査した。行事などの際には参与観察および観察を行った。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：

2009年7月30日から8月6日までの8日間に、石川県珠洲市三崎町雲津・小泊・伏見・高波にて、引率教員2名、博士研究員TA1名、大学院生1名、学部学生7名によって、本調査を実施した。その後、参加者各自の必要に応じて、補充調査を行った。

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票及び回収率を必ず記入）：

世帯別、年齢別、性別、地域別の住民データなどについては、統計、センサス、住民票集計などの量的調査を用いたが、実習調査全体は主にゆるやかに構成されたインタビューによる質的調査を基礎としている。訪問インタビューが出来たのは住民705名中62名（8.8%）である。一件のインタビューが1時間から2時間以上に及ぶこともあることを考慮すると、妥当な件数と言える。

## IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：

住民票やセンサスデータは、エクセルなどを用いながら、統計的に処理・分析した。個別のデータについては、キーインフォマントおよび一般住民への聞き取りが基礎になっているので、丹念に集めた具体的な事例データを、情報カードに書き込む形で集積・共有し、分析・解釈を行った。

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：

過疎化や高齢化が問題となっている能登地方のなかで、市街地に近いためか、対象地域の人口減少と高齢化率は比較的小さい。住民組織では、壮年団組織による活動が活発で、町内会の活動の主体となっているという特徴がある。4集落ともに農業と漁業に従事しているとされたが、細かく見ると、農業、漁業、その他の生業のどれに重点が置かれているかは、集落や世帯の戦略によって異なることが分かった。

10. 報告書刊行の予定と概要：

『金沢大学文化人類学研究室調査実習報告書第25巻

石川県珠洲市三崎町雲津・小泊・伏見・高波』(B5版、142ページ、700部)を2010年2月28日に刊行した。地域の概略、人口構成、地区組織、農業、漁業、出稼ぎ、神社祭礼、結婚儀礼、産業と工芸、地産地消運動、宗教が、その主な内容である。